

滝口康彦の足跡



著作紹介①

『一命』

著者 滝口康彦

出版社 講談社

武家における殉死の意味を問う「高柳父子」、家族愛を描く「拝領妻始末」など6編を収録。武士の悲哀を描き続けた時代小説家の傑作選。

収録作品

「異聞浪人記」「貞女の櫛」
「謀殺」「上意討ち心得」
「高柳父子」「拝領妻始末」



取材に出ることは少なく、多くはさまざまなジャンルの本から着想を得ました。

- 大正13年(1924) ○ 長崎県佐世保市万津町で生誕。
- 昭和8年(1933) ○ 多久市へ移住。
- 昭和15年(1940) ○ 郵便局に就職、その後運送会社に転職。
- 昭和19年(1944) ○ 相浦海兵団へ入団、防府海軍通信学校に入校。
- 昭和20年(1945) ○ 防府海軍通信学校卒業、終戦直前は宮崎県に駐屯。
- 昭和23年(1948) ○ 炭鉱就職。ここでは同僚と同人誌を作ったりアマチュア向けの舞台台本を書いたりして過ごした。
- 昭和29年(1954) ○ 懸賞に応募した全ての作品が入賞。
- 昭和33年(1958) ○ **①『高柳父子』が直木賞候補**
『異聞浪人記』がサンデー毎日大衆文芸賞を受賞。
- 昭和37年(1962) ○ 『異聞浪人記』を原作とした映画『切腹』封切り。
②『かげろう記』が直木賞候補
- 昭和42年(1967) ○ 『拝領妻始末』を原作とした映画『上意討ち 一拝領妻始末』上映決定。
③『霧の底から』が直木賞候補
- 昭和47年(1972) ○ **④『仲秋十五日』が直木賞候補**
- 昭和48年(1973) ○ **⑤『日向延岡のぼり猿』が直木賞候補**
- 昭和53年(1978) ○ **⑥『主家滅ぶべし』が直木賞候補**
- 昭和58年(1983) ○ 心臓を患い入院。以降闘病生活を送る。
- 昭和60年(1985) ○ 多久市文化連盟芸術文化功労賞を受賞。
- 平成16年(2004) ○ 急性循環不全のため80歳で逝去。



映画『切腹』を図書館で上映します！

多久市立図書館創立100周年記念事業の締めくくりに、滝口氏の著作『異聞浪人記』を原作とした映画『切腹』の上映会を多久市中央公民館大ホールで開催します。くわしくは[裏表紙](#)をご覧ください。

問 多久市立図書館 ☎ 0952-75-2233

著作紹介②

『異聞浪人記』

著者 滝口康彦

出版社 河出書房新社



原作は図書館で借りられます！